

平成29年三重県議会定例会

予算決算常任委員会
教育警察分科会資料

所管事項調査

資料1 債権処理計画(平成28年度実績・平成29年度目標)について

資料2 平成30年度当初予算編成に向けての基本的な考え方について

付託議案審査

資料3 平成28年度歳入歳出決算補充説明書

平成29年10月
警察本部

債権処理計画

(平成28年度実績・平成29年度目標)

三重県警察本部

平成28年度 債権処理計画（実績）

総括票	1
個 票		
放置違反金	2
損害賠償金弁償金（交通信号機）	3
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	4
損害賠償金弁償金（伊賀署丸の内交番）	5

様式(実績2)

平成28年度 債権処理計画(実績・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 平成28年度実績

債権の性格	種別	A 平成27年度実績	B 当初(平成27年度末)	C 平成28年度目標(28年度発生分を除く。)			D 実績(平成28年度末)(28年度発生分を除く。)				E 28年度発生分期末残高	F 平成28年度末B-D+E	主な債権	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/O(%)	件数	件数		
3-1 強制徴収公債権	回収対象	3,155,646円 220件		3,500,000円 245件	回収率 110.9	110.9	3,257,368円 222件	回収率 103.2	103.2	93.1				
	整理対象	1,513,000円 102件		950,000円 65件	回収率 62.8	62.8	1,210,000円 83件	回収率 80.0	80.0	127.4				
	計	4,668,646円 322件	12,590,695円 873件	4,450,000円 310件	回収率 35.3	95.3	4,467,368円 305件	回収率 35.5	95.7	100.4	1,378,000円 95件	9,501,327円 663件		
	回収対象	0円 0件		0円 0件	回収率 0		0円 0件	回収率 0						
	整理対象	0円 0件		0円 0件	回収率 0		0円 0件	回収率 0				0円 0件	0円 0件	
3-2 非強制徴収公債権	回収対象	10,000円 0件		206,000円 1件	回収率 2,060.0	2,060.0	175,000円 1件	回収率 1,750.0	1,750.0	85.0				
	整理対象	0円 0件		0円 0件	回収率 0		0円 0件	回収率 0						
	計	10,000円 0件	11,216,319円 3件	206,000円 1件	回収率 1.8	2,060.0	175,000円 1件	回収率 1.6	1,750.0	85.0	3,185,400円 2件	14,226,719円 4件		
	回収対象	3,165,646円 220件		3,706,000円 246件	回収率 117.1	117.1	3,432,368円 223件	回収率 108.4	108.4	92.6				
	整理対象	1,513,000円 102件		950,000円 65件	回収率 62.8	62.8	1,210,000円 83件	回収率 80.0	80.0	127.4				
3-3 私債権	回収対象	3,165,646円 220件		3,706,000円 246件	回収率 117.1	117.1	3,432,368円 223件	回収率 108.4	108.4	92.6				
	整理対象	1,513,000円 102件		950,000円 65件	回収率 62.8	62.8	1,210,000円 83件	回収率 80.0	80.0	127.4				
	計	4,678,646円 322件	23,807,014円 876件	4,656,000円 311件	回収率 19.6	99.5	4,642,368円 306件	回収率 19.5	99.2	99.7	4,563,400円 97件	23,728,046円 667件		
	回収対象	3,165,646円 220件		3,706,000円 246件	回収率 117.1	117.1	3,432,368円 223件	回収率 108.4	108.4	92.6				
	整理対象	1,513,000円 102件		950,000円 65件	回収率 62.8	62.8	1,210,000円 83件	回収率 80.0	80.0	127.4				
合計	回収対象	3,165,646円 220件		3,706,000円 246件	回収率 117.1	117.1	3,432,368円 223件	回収率 108.4	108.4	92.6				
	整理対象	1,513,000円 102件		950,000円 65件	回収率 62.8	62.8	1,210,000円 83件	回収率 80.0	80.0	127.4				
	計	4,678,646円 322件	23,807,014円 876件	4,656,000円 311件	回収率 19.6	99.5	4,642,368円 306件	回収率 19.5	99.2	99.7	4,563,400円 97件	23,728,046円 667件		
	回収対象	3,165,646円 220件		3,706,000円 246件	回収率 117.1	117.1	3,432,368円 223件	回収率 108.4	108.4	92.6				
	整理対象	1,513,000円 102件		950,000円 65件	回収率 62.8	62.8	1,210,000円 83件	回収率 80.0	80.0	127.4				

損害賠償金弁償金(交通信号機)
損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
損害賠償金弁償金(伊賀署丸の内交番)

様式(実績1)

平成28年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規:道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明、生活困窮等
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	○所在不明者の追跡調査、電話や訪問等による催促などにより自主的な納付率の向上方策を推進するとともに、納付に応じない者に対しては滞納処分を継続実施していきます。 ○多数滞納事案や時効切迫事案を重点に徴収を推進します。
8 取組成果	○平成28年度中、過年度の未済額の回収は222件(目標比-23件、達成率91%)・3,257,368円(目標比-242,632円、達成率93%)で、目標をやや下回る結果となりました。 ○平成28年度は前年度の実績を基準に目標設定を行いました。達成できなかった理由としては、多年に亘り追求が難航している者の割合が増加する中で、悪質滞納者(複数違反滞納者等)や追跡調査の難しい者(生活実態把握困難者等)に重点を置いて滞納処分の執行に努めたところ、回収が困難であったことと考えられます。

滞納債権の現状

9 平成28年度実績

債権の性格	種別	A 平成27年度実績	B 当初(平成27年度末)	C 平成28年度目標(28年度発生分を除く。)			D 実績(平成28年度末)(28年度発生分を除く。)				E 28年度発生分期末残高	F 平成28年度末B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
強制徴収公債権	回収対象	3,155,646 円		3,500,000 円	回収率	110.9	3,257,368 円	回収率	103.2	93.1				
		220 件		245 件	回収率	111.4	222 件	回収率	100.9	90.6				
	整理対象	1,513,000 円		950,000 円	整理率	62.8	1,210,000 円	整理率	80.0	127.4				
		102 件		65 件	整理率	63.7	83 件	整理率	81.4	127.7				
	計	4,668,646 円	12,590,695 円	4,450,000 円	処理率	35.3	95.3	4,467,368 円	処理率	35.5	95.7	100.4	1,378,000 円	9,501,327 円
		322 件	873 件	310 件	処理率	35.5	96.3	305 件	処理率	34.9	94.7	98.4	95 件	663 件

様式(実績1)

平成28年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	継続的に電話催告、訪問を行い、現状にあった返還指導を促し、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	定期的に訪問を実施し、債権回収をはかり、債務者に納入をうながしたものの、生活困窮者であり納入ができず、目標の金額には至らなかったものである。

滞納債権の現状

9 平成28年度実績

債権の性格	種別	A 平成27年度実績	B 当初(平成27年度末)	C 平成28年度目標(28年度発生分を除く。)			D 実績(平成28年度末)(28年度発生分を除く。)				E 28年度発生分期末残高	F 平成28年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円	/	10,000円	回収率		1,000円	回収率		10.0	/	/
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/
	計	0円	2,208,200円	10,000円	回収率	0.5	1,000円	回収率	0.0	10.0	3,185,400円	5,392,600円
		0件	1件	0件	回収率	0.0	0件	回収率	0.0		2件	3件

様式(実績1)

平成28年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返し衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	継続的に電話催告、訪問を行い、現状にあった返還指導を促し、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	電話催告、訪問を行ったが、目標額に及ばなかった。

滞納債権の現状

9 平成28年度実績

債権の性格	種別	A 平成27年度実績		B 当初(平成27年度末)		C 平成28年度目標(28年度発生分を除く。)				D 実績(平成28年度末)(28年度発生分を除く。)				E 28年度発生分期末残高	F 平成28年度末B-D+E	
		処理額		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	未済件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	未済件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-3 私債権	回収対象	10,000円		30,000円	回収率		300.0	8,000円	回収率		80.0	26.7				
		0件		0件	回収率			0件	回収率							
	整理対象	0円		0円	整理率			0円	整理率							
		0件		0件	整理率			0件	整理率							
	計	10,000円	8,842,119円	30,000円	処理率	0.3	300.0	8,000円	処理率	0.1	80.0	26.7	円	8,834,119円		
		0件	1件	0件	処理率	0.0		0件	処理率	0.0			件	1件		

様式(実績1)

平成28年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(伊賀署丸の内交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	伊賀警察署丸の内交番の駐車場に自動車を駐車する際、交番の外壁に衝突し、壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	継続的に電話催告、訪問を行い、債権回収を図っていきます。
8 取組成果	電話催告や訪問を行い、全額回収に至った。

滞納債権の現状

9 平成28年度実績

債権の性格	種別	A 平成27年度 実績	B 当初 (平成27年度末)	C 平成28年度 目 標 (28年度発生分を除く。)			D 実績(平成28年度末) (28年度発生分を除く。)				E 28年度発生分 期末残高	F 平成28年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円	/	166,000円	回収率		166,000円	回収率		100.0	/	/
		0件	/	1件	回収率		1件	回収率		100.0	/	/
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/
	計	0円	166,000円	166,000円	処理率	100.0	166,000円	処理率	100.0	100.0	円	0円
		0件	1件	1件	処理率	100.0	1件	処理率	100.0	100.0	件	0件

平成29年度 債権処理計画（目標）

総括票	6
個 票		
放置違反金	7
損害賠償金弁償金（交通信号機）	8
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	9

様式(目標2)

平成29年度 債権処理計画(目標・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 平成29年度目標

債権の性格	種別	A 平成28年度末		B 平成29年度目標 (29年度発生分を除く。)				C 平成29年度当初に存在する債権にかかる平成28年度処理額 (28年度発生分を除く。)		主な債権
		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		
		未済件数		処理件数		全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
3-1 強制徴収 公債権	回収			3,400,000 円	回収率		104.4	3,257,368 円		
				230 件	回収率		103.6	222 件		
	整理			900,000 円	整理率		74.4	1,210,000 円		
				60 件	整理率		72.3	83 件		
計		9,501,327 円		4,300,000 円	処理率	45.3	96.3	4,467,368 円		
		663 件		290 件	処理率	43.7	95.1	305 件		
3-2 非強制徴収 公債権	回収			0 円	回収率			0 円		
				0 件	回収率			0 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
計		0 円		0 円	処理率		0 円			
		0 件		0 件	処理率			0 件		
3-3 私債権	回収			600,000 円	回収率		6,666.7	9,000 円	損害賠償弁償金(交通信号機)	
				0 件	回収率			0 件	損害賠償弁償金(鈴鹿署神戸交番)	
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
計		14,226,719 円		600,000 円	処理率	4.2	6,666.7	9,000 円		
		4 件		0 件	処理率	0.0		0 件		
合計	回収			4,000,000 円	回収率		122.5	3,266,368 円		
				230 件	回収率		103.6	222 件		
	整理			900,000 円	整理率		74.4	1,210,000 円		
				60 件	整理率		72.3	83 件		
計		23,728,046 円		4,900,000 円	処理率	20.7	109.5	4,476,368 円		
		667 件		290 件	処理率	43.5	95.1	305 件		

※ 前年度に完済した債権は、現年度の債権処理計画(目標)を作成しないことから、C欄に含まれません。
完済した債権を含む前年度の債権処理実績は、別冊「債権処理計画(実績)」でまとめています。

様式(目標1)

平成29年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規:道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明、生活困窮等
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	<p>○所在不明者の追跡調査、電話や訪問等による催促などにより自主的な納付率の向上方を推進するとともに、納付に応じない者に対しては滞納処分を継続実施していきます。</p> <p>○多重滞納事案や時効切迫事案を重点に徴収を推進します。</p>
--------	--

滞納債権の現状

8 平成29年度目標

債権の性格	種別	A 平成28年度末		B 平成29年度 目標 (29年度発生分を除く。)			C 平成29年度当初に存在する 債権にかかる平成28年度処理額 (28年度発生分を除く。)		備考
		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額	
		未済件数		処理件数		全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数	
8-1	回収	/		3,400,000 円	回収率		104.4	3,257,368 円	
		/		230 件	回収率		103.6	222 件	
強制徴収 公債権	整理	/		900,000 円	整理率		74.4	1,210,000 円	
		/		60 件	整理率		72.3	83 件	
	計	9,501,327 円		4,300,000 円	処理率	45.3	96.3	4,467,368 円	
		663 件		290 件	処理率	43.7	95.1	305 件	

様式(目標1)

平成29年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返して衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	平成29年4月、事件で逮捕されたことから、現状での債権回収は不可能と考えられます。今後の捜査の推移を見守ることとします。
--------	--

滞納債権の現状

8 平成29年度目標

債権の性格	種別	A 平成28年度末		B 平成29年度目標 (29年度発生分を除く。)			C 平成29年度当初に存在する 債権にかかる平成28年度処理額 (28年度発生分を除く。)		備考	
		未済額	未済件数	処理額	処理件数	回収率・整理率		処理額		
						全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3 私債権	回収			0 円	回収率		0.0	8,000 円		
				0 件	回収率			0 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
	計		8,834,119 円		0 円	処理率	0.0	0.0	8,000 円	
			1 件		0 件	処理率	0.0		0 件	

施策 141 犯罪に強いまちづくり

【主担当部局：警察本部】

県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体と連携した犯罪抑止活動が展開されるとともに、発生した犯罪が検挙されることで、県民一人ひとりの安全が保たれ、安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会が構築されています。

平成31年度末での到達目標

被害者に重大な危害を及ぼす重要犯罪等がさまざまな主体と一体となった犯罪抑止活動、検挙活動により減少しています。

県民指標		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
	刑法犯認知件数	15,178件	15,178件 未満	15,178件 未満		15,178件 未満
目標項目の説明と平成30年度目標値の考え方						
目標項目の説明	刑法犯（道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷および自動車運転過失致死傷を除く。）について、1年間に被害の届出や告訴・告発を受理等した件数					
30年度目標値の考え方	平成27年中の刑法犯認知件数は、平成になってから最少となる15,178件となり、ピークであった平成14年以降、ほぼ一貫して減少していることから、過去の数値に基づいて単純に目標値を設定することは妥当ではないと考え、「平成27年の数値」を基準に1件でも減少させることを目標にすることとしました。					

活動指標		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
		14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化（警察本部）	防犯ボランティアの団体数	610団体	630団体	650団体
14102 犯罪の徹底検挙のための活動強化（警察本部）	重要犯罪の検挙率	81.3%	70.0%以上 96.9%	70.0%以上		70.0%以上
14103 県民の安全を守る活動基盤の整備（警察本部）	交番・駐在所の機能強化数	2か所	年2か所以上 2か所	年2か所以上		年2か所以上

現状と課題

- ①県民、事業者、関係機関・団体等と連携・協働し、地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策や検挙活動に取り組んだ結果、平成 28 年中の刑法犯認知件数は、平成になってから最少を記録しました。一方で、平成 29 年上半期においては、車上ねらいの連続発生や電子マネーを悪用した特殊詐欺の急増などを受け、刑法犯認知件数は前年と比べ増加しました。加えて、住宅街で殺傷事件が発生するなど暴力団の対立抗争は依然として社会に大きな不安を与え、県民の皆さんが体感治安の向上を実感できる状況にはありません。
- ②インターネットが県民生活や社会経済活動に不可欠な社会基盤として定着する中、世界各地でランサムウェア（身代金要求型ウイルス）の感染被害が発生するなど、サイバー空間では新たな脅威が絶えず出現しています。県内においても、サイバー犯罪に関する相談が増加の一途をたどっている上、依然としてサイバー犯罪の被害が後を絶たない状況にあり、サイバー空間の脅威はますます深刻化しています。
- ③伊勢志摩サミット後も世界では依然としてテロの脅威が続いており、海外で相次ぐソフトターゲットを狙ったテロでは邦人が被害者となったほか、国内においても爆発物を製造したり、爆発させる事件が発生するなどテロの脅威は正に現実のものとなっています。
- ④このような厳しい治安情勢の中で、県民の皆さんはもとより、国内外からの来訪者が安全・安心を実感できるよう、多様な主体と連携・協働した犯罪抑止対策や検挙活動を一層強化する必要があります。
- ⑤伊勢志摩サミット開催を契機とし、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という意識の高まりを次世代に引き継ぐため策定した「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」の一層の普及を図り、多様な主体と協創して安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していく必要があります。

平成 30 年度当初予算編成に向けての基本的な考え方

警察本部

- ①安全で安心できる県民生活を確保するため、巧妙化する特殊詐欺に対して戦略的に予防活動を展開するなど、多様な主体と連携・協働し、地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策を推進します。また、県民に重大な危害を及ぼす重要犯罪・重要窃盗犯に対する検挙活動を強化するほか、暴力団の対立抗争の危険から県民の皆さんを守るため、社会全体での暴力団排除活動の推進、暴力団取締りや警戒活動の強化等に取り組めます。
- ②深刻化するサイバー空間の脅威に対処するため、最新かつ高度な知見を持つ学術機関や民間事業者と連携し、捜査員の育成等を通じてサイバー空間の脅威への対処能力の向上を図るほか、産学官が連携してサイバーセキュリティに関する情報を収集、共有、活用し、県民に還元する取組を推進します。
- ③伊勢志摩サミットを契機に設立した「テロ対策パートナーシップ」は、官民一体で「テロを許さない社会・地域づくり」を目指しており、この活動を更に推進することで参画機関の対処能力向上を図るほか、県民のテロに対する危機意識をより一層高め、テロを行いにくい環境を構築することを目指します。
- ④警察活動を支える基盤を強化するため、地域住民の安全・安心のよりどころである交番・駐在所の施設や警察活動に必要な装備資機材等の整備充実を図ります。

環境生活部

- ⑤多様な主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していくため、「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」の更なる具現化を進めます。

平成28年度 歳入歳出決算補充説明書

平成29年10月

警察本部

平成28年度一般会計歳入歳出決算のうち、警察本部関係の概要について御説明いたします。

【歳入】

警察本部関係の歳入決算額は、

予算現額	48億8,367万3,160円
調定額	46億4,704万6,218円
収入済額	46億2,215万3,172円
不納欠損額	116万5,000円
収入未済額	2,372万8,046円

となっております。

【歳出】

警察費の歳出決算額は、

予算現額	379億	604万	160円
支出済額	375億1,417万1,906円		
翌年度繰越額	2億1,552万3,210円		
不用額	1億7,634万5,044円		

となっております。

以下、「平成28年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、御説明いたします。

まず、歳入決算について御説明いたします。

48頁の第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第1目総務使用料のうち警察本部関係は、

予算現額	588万4,000円
調定額	580万4,804円
収入済額	580万4,804円

で、収入済額の主なものは、警察庁舎の一部の事務所使用や自動販売機の設置等に係る建物使用料であります。

66頁の第2項手数料、第8目警察手数料は、

予算現額	21億1,244万6,000円
調定額	20億7,804万1,630円
収入済額	20億7,804万1,630円

で、収入済額の主なものは、自動車運転免許証交付等手数料、更新時講習等手数料、

高齢者講習手数料、自動車保管場所証明書交付申請等手数料などであります。
収入済額が予算現額に比べ、3,440万4,370円の減収となりましたが、これは主に、高齢者講習手数料の減収によるものであります。

100頁の第9款国庫支出金、第2項国庫補助金、第8目警察費補助金は、

予算現額	6億7,496万2,000円
調定額	6億7,490万4,000円
収入済額	6億7,490万4,000円

で、収入済額の全てが警察費補助金であります。

116頁の第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億5,924万9,000円
調定額	1億5,920万4,680円
収入済額	1億5,920万4,680円

で、収入済額の主なものは、警察関係職員住宅、待機宿舍及び独身寮の家屋貸下料であります。

第2項財産売払収入、第2目物品売払収入のうち警察本部関係は、

予算現額	127万7,000円
調定額	129万1,274円
収入済額	129万1,274円

で、収入済額は、保管期間が満了した拾得物品等を売却した物品売払収入であります。

122頁の第11款寄附金、第1項寄附金、第14目警察費寄附金は、

予算現額	100万円
調定額	100万円
収入済額	100万円

で、収入済額は、交通安全対策寄附金であります。

124頁の第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金のうち警察本部関係は、

予算現額	1億4,673万2,000円
調定額	1億4,673万2,000円
収入済額	1億4,673万2,000円

で、収入済額の主なものは、財政調整基金繰入金であります。

126頁の第13款繰越金、第1項繰越金、第1目繰越金のうち警察本部関係は、

予算現額	46万3,160円
------	-----------

調定額 46万3,160円
収入済額 46万3,160円 で、
収入済額は、平成27年度から平成28年度に繰り越した事業に充当したものであります。

128頁の第14款諸収入、第1項延滞金、加算金及び過料等、第1目延滞金のうち警察本部関係は、

予算現額 71万円
調定額 1,100円
収入済額 1,100円 で、
収入済額は、放置違反金の延滞金であります。

第3目過料等のうち警察本部関係は、

予算現額 1,954万円
調定額 1,978万7,000円
収入済額 1,840万9,000円
収入未済額 137万8,000円 で、
収入済額は、放置違反金であります。
収入未済額は、放置違反金の滞納によるものです。

138頁の第8項雑入、第2目雑入のうち警察本部関係は、

予算現額 1億8,225万3,000円
調定額 1億8,232万2,905円
収入済額 1億8,232万2,905円 で、
収入済額の主なものは、留置施設食費等弁償金、警察職員住宅使用料などであります。

142頁の第3目過年度収入のうち警察本部関係は、

予算現額 490万6,000円
調定額 2,499万1,214円
収入済額 466万1,568円
不納欠損額 116万5,000円
収入未済額 1,916万4,646円 で、
収入済額の主なものは、放置違反金であります。

不納欠損額は、放置違反金の消滅時効によるものです。

なお、収入未済額は、放置違反金及び弁償金の滞納によるものです。

第5目弁償金のうち警察本部関係は、

予算現額 425万1,000円
調定額 849万9,551円
収入済額 531万4,151円

収入未済額 318万5,400円 で、
収入済額の主なものは、交通事故損害賠償金であります。
なお、収入未済額は、弁償金の滞納によるものです。

第6目違約金及び延納利息のうち警察本部関係は、

予算現額 0円
調定額 2,900円
収入済額 2,900円 で、

収入済額の主なものは、損害賠償金にかかる遅延損害金であります。

160頁の第15款県債、第1項県債、第7目警察債は、

予算現額 15億7,000万円
調定額 13億4,400万円
収入済額 13億4,400万円 で、

収入済額は、県単警察施設整備費充当及び交通安全施設整備費充当であります。

収入済額が予算現額に比べ、2億2,600万円の減収となりましたが、これは主に、県単警察施設整備費充当事業で繰越が発生したことに伴う減額によるものです。

以上、警察本部関係の歳入決算について御説明いたしました。未収金につきましては、所在不明者の追跡調査、電話や訪問による催促等を行い、納付に応じない者に対しましては、滞納処分を実施するなど、引き続き、収納確保に努めてまいります。

次に歳出決算について御説明いたします。

第9款警察費のうち、420頁の第1項警察管理費、第1目公安委員会費は、

予算現額 797万円
支出済額 762万4,535円
不用額 34万5,465円 で、

支出済額の主なものは、公安委員報酬のほか、公安委員会の事務などに要した経費であります。

不用額の主なものは、公安委員報酬の実績減、活動旅費の執行残などであり
ます。

第2目警察本部費は、

予算現額 324億6,268万2,000円
支出済額 323億9,058万8,102円

不用額 7, 209万3, 898円 で、
支出済額の主なものは、警察職員の給料のほか、福利厚生、被服の調製、施設運営、中型汎用電算機の運用などに要した経費であります。

不用額の主なものは、給与費における退職手当、職員手当等の執行残及び施設運営費における光熱水費の執行残などであります。

422頁の第3目装備費は、

予算現額	3億9, 750万1, 000円
支出済額	3億8, 562万9, 869円
不用額	1, 187万1, 131円 で、

支出済額の主なものは、警察用車両、船舶、航空機等警察機動力の運用・維持、装備資機材の整備などに要した経費であります。

不用額の主なものは、警察装備費における燃料費、自動車損害保険料の執行残などであります。

424頁の第4目警察施設費は、

予算現額	5億3, 071万3, 160円
支出済額	3億1, 222万2, 749円
翌年度繰越額	2億1, 552万3, 210円
不用額	296万7, 201円 で、

支出済額の主なものは、四日市北警察署庁舎整備費や南島幹部交番の建替整備などに要した経費であります。

翌年度繰越額については、四日市北警察署建築工事において、地中障害物が確認され、撤去作業の追加に不測の日数を要したほか、南島幹部交番建築工事においても、転石が確認され、掘削工法の見直しに伴う機材の入手等に不測の日数を要するなど、年度内の事業完了が困難となり、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、工事事務等における消耗品費の執行残などであります。

第5目運転免許費は、

予算現額	9億8, 713万8, 000円
支出済額	9億5, 474万2, 142円
不用額	3, 239万5, 858円 で、

支出済額の主なものは、運転免許試験、運転免許証更新事務、交通法令違反者に対する行政処分、運転免許更新者等に対する各種講習を実施するために要した経費であります。

不用額の主なものは、高齢者講習実施費や更新時講習等実施費の執行残であります。

426頁の第6目恩給及び退職年金費は、

予算現額	4,964万5,000円
支出済額	4,885万3,898円
不用額	79万1,102円

で、支出済額は、退職職員に対する恩給及びその遺族に対する扶助料の支給などに要した経費であります。

次に、第2項警察活動費、第1目一般警察活動費は、

予算現額	3億756万5,000円
支出済額	2億9,481万4,300円
不用額	1,275万700円

で、支出済額の主なものは、警察活動に伴う企画運営、警察教養のほか、捜査活動等の旅費、警察電話の維持管理、留置施設の維持管理等に要した経費であります。

不用額の主なものは、警察電話の維持管理や旅費の執行残などであります。

428頁の第2目刑事警察費は、

予算現額	18億4,390万円
支出済額	18億2,046万9,969円
不用額	2,343万31円

で、支出済額の主なものは、犯罪抑止対策、悪質・重要犯罪や組織犯罪の徹底検挙、暴力団排除活動の推進、少年の非行防止対策、テロ対策、災害警備対策など、県民の安全・安心を確保するために必要な各種対策の推進に要した経費のほか、伊勢志摩サミット警備に要した経費も含まれております。

不用額の主なものは、伊勢志摩サミット警備関係経費であるテロ等対策費の執行残や、災害警備対策費における備品購入費の執行残などあります。

430頁の第3目交通指導取締費は、

予算現額	4億6,570万7,000円
支出済額	4億6,261万3,965円
不用額	309万3,035円

で、支出済額は、効果的な交通指導取締り、違法駐車対策、迅速・的確な交通事故・事件捜査の推進、各種交通安全教育の実施など、交通事故の防止と交通秩序の確立を図るために要した経費であります。

不用額の主なものは、道路使用調査業務推進費における委託料の執行残などあります。

432頁の第4目交通安全施設整備費は、

予算現額	8億5,321万9,000円
支出済額	8億3,661万2,377円
不用額	1,660万6,623円

支出済額は、交通管制センターの設置・維持、交通信号機の設置・改良、道路標識・標示の設置・改良、交通安全施設の維持に要した経費であります。

不用額の主なものは、交通安全施設維持費における光熱水費、工事請負費の執行残などであります。

以上、平成28年度警察本部関係の歳入歳出決算について御説明いたしました。

平成28年度歳入歳出決算(警察本部関係)

【歳入】

単位:円

科目	予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	不納欠損額	収入未済額	差額(B-A)
使用料及び手数料	2,118,330,000	2,083,846,434	2,083,846,434			△ 34,483,566
国庫支出金	674,962,000	674,904,000	674,904,000			△ 58,000
財産収入	160,526,000	160,495,954	160,495,954			△ 30,046
寄附金	1,000,000	1,000,000	1,000,000			0
繰入金	146,732,000	146,732,000	146,732,000			0
繰越金	463,160	463,160	463,160			0
諸収入	211,660,000	235,604,670	210,711,624	1,165,000	23,728,046	△ 948,376
県債	1,570,000,000	1,344,000,000	1,344,000,000			△ 226,000,000
合計	4,883,673,160	4,647,046,218	4,622,153,172	1,165,000	23,728,046	△ 261,519,988

【歳出】

単位:円

科目	予算現額	支出済額	繰越額	不用額	備考(主な不用額の内容)
警察管理費	34,435,649,160	34,099,661,295	215,523,210	120,464,655	
公安委員会費	7,970,000	7,624,535	0	345,465	
警察本部費	32,462,682,000	32,390,588,102	0	72,093,898	・退職手当等の執行残、本部庁舎等光熱水費の執行残
装備費	397,501,000	385,629,869	0	11,871,131	・警察活動車両用燃料費等の執行残
警察施設費	530,713,160	312,222,749	215,523,210	2,967,201	・庁舎建築工事費等の執行残
運転免許費	987,138,000	954,742,142	0	32,395,858	・高齢者講習委託料等の執行残
恩給及び退職年金費	49,645,000	48,853,898	0	791,102	
警察活動費	3,470,391,000	3,414,510,611	0	55,880,389	
一般警察活動費	307,565,000	294,814,300	0	12,750,700	・警察活動諸費における活動旅費等の執行残
刑事警察費	1,843,900,000	1,820,469,969	0	23,430,031	・テロ等対策費における時間外勤務手当や、災害対策用大型マルチスクリーン等購入費等の執行残
交通指導取締費	465,707,000	462,613,965	0	3,093,035	・道路使用調査業務推進費等の執行残
交通安全施設整備費	853,219,000	836,612,377	0	16,606,623	・交通安全施設維持費における光熱水費、工事請負費等の執行残
警察費	37,906,040,160	37,514,171,906	215,523,210	176,345,044	